

研究教育業績（2014-2018 年度）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) 小倉 憲一, 山川 祐子, 大鋸 立邦, 菊川 哲英, 若杉 雅浩, 廣田 幸次郎, 大田 祥子, 富山県ドクターヘリ導入後の医療経済効果, 日本航空医療学会誌, **19**(1), 18-25 (2018).

[総説]

[著書]

[その他]

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Yamakawa Y., Ogura K., Ohta S., Medical and economical effects by introducing helicopter emergency medical service (HEMS) in Toyama prefecture, Japan, Air Medical Transport Conference (AMTC) 2018, August, Phoenix (2018)
- 2) Yamakawa Y., Ohta S., Ohnishi J., Natsui J., Miyagawa S., Wakita N., Measurement system of quality indicators for assessing healthcare quality, 18th World Congress of the International Federation of Health Information Management Association (IFHIMA 2016), October, Tokyo (2016)

[国内学会]

- 1) 大田 祥子, 山川 祐子, 福島 英賢, 川井 康之, 渡邊 知朗, 奥地 一夫, 脳神経外科救急における情報通信技術(ICT)の利用 脳卒中患者における病院前搬送データと入院後予後の関連, 日本脳神経外科救急学会, 2 月, 奈良 (2018).
- 2) 奥地 一夫, 福島 英賢, 瓜園 泰之, 川井 廉之, 渡邊 知朗, 大田 祥子, e-MATCH を用いた 3 年間のデータで見えた奈良県の救急応需改善の成果, 第 45 回日本救急医学会総会・学術集会, 10 月, 大阪 (2017).
- 3) 奥地 一夫, 中村 達也, 福島 英賢, 瓜園 泰之, 川井 廉之, 渡邊 知朗, 浅井 英樹, 大田 祥子, 救急医療と ICT 新たな展開への挑戦 ICT を用いた脳卒中患者搬送の地域格差の分析と対応, 第 44 回日本救急医学会総会・学術集会, 11 月, 東京 (2016).
- 4) 石見 拓, 北村 哲久, 木村 剛, 坂本 哲也, 飯原 弘二, 森村 尚登, 清水 直樹, 織田 順, 大田 祥子, 上村 修二, 川内 敦文, 吉矢 和久, 片山 祐介, 畠山 稔弘, 島本 大也, 嶋津 岳士, 救急医療を俯瞰して体制を構築する メディカルコントロールの新たなあり方 メディカルコントロールにおける救急傷病レジストリ構築の意義と課題、今後の展望, 第 43 回日本救急医学会総会・学術集会, 10 月, 東京 (2015).
- 5) 嶋津 岳士, 北村 哲久, 石見 拓, 木村 剛, 坂本 哲也, 飯原 弘二, 森村 尚登, 清水 直樹, 織田 順, 大田 祥子, 上村 修二, 川内 敦文, 吉矢 和久, 片山 祐介, 畠山 稔弘, 島本 大也, 重症循環器疾患等に関するデータレジストリシステムの構築について 厚生労働省科学研究事業としての取り組み, 第 43 回日本救急医学会総会・学術集会, 10 月, 東京 (2015).

- 6) 大西 丈二, 瀨瀬 祐子, 大田 祥子, 奈良県における回復期リハビリテーション病棟医療機能の見える化取組の進捗紹介, 第 52 回日本リハビリテーション医学会, 5 月, 名古屋 (2015).
- 7) 奥地 一夫, 福島 英賢, 則本 和伸, 關 匡彦, 川井 廉之, 大田 祥子, 病院前医療体制における ICT 活用はどこまで進んだか 奈良県における救急搬送の可視化を目指した ICT システムの現状, 第 18 回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 6 月, 富山, (2015).

3. その他特筆すべき研究業績

[研究費の受け入れ状況]

- 1) 森村尚登 (代表), 田中淳 (分担), 野口英一 (分担), 問田千晶 (分担), 高橋耕平 (分担), 猪口正孝 (分担), 大田祥子 (分担), 竹島茂人 (分担), 清田和也 (分担), 蛭間芳樹 (分担), 厚生労働科学特別研究事業, 大規模災害に対する地域医療計画策定のための新たな需給均衡指標 (災害医療リスクリソース比) の導入に関する研究, (2018).
- 2) 森村尚登 (代表), 伊藤重彦 (分担), 内田元高 (分担), 下枝昌司 (分担), 服部良一 (分担), 真弓俊彦 (分担), 田邊晴山 (分担), 櫻井淳 (分担), 杉田学 (分担), 織田順 (分担), 林靖之 (分担), 六車崇 (分担), 問田千晶 (分担), 竹中ゆかり (分担), 北小屋裕 (分担), 大田祥子 (分担), 有馬陽一 (分担), 消防防災科学技術研究推進制度, 緊急度判定プロトコルの精度の向上・現場での活用に関する研究, (2018-2021).
- 3) 大西丈二 (代表), 大田祥子 (分担), 鈴木裕介 (分担), 科学研究費補助金基盤 C (文部科学省), 緊急度判定プロトコルの精度の向上・現場での活用に関する研究, (2017-2019)

[その他 (特許など)]

- 1) 青木則明, 大田祥子, 健康教育装置、健康教育方法、及び健康教育プログラム、並びに健康教育システム (特開 2005-049671) (2005).
- 2) 青木則明, 大田祥子, 診療記録・支援システム, (特開 2010-205227) (2010).
- 3) 青木則明, 大田祥子, 救急医療管制支援システム及びサーバ並びに携帯端末, (特開 2014-081751) (2014).

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2018 年度

2017 年度

2016 年度

2015 年度

2014 年度

2. その他特筆すべき教育業績